

科目一覧(ジャンル別)

言語

講義 番号	科目名	副題	講師名	学期	曜日	時限	募集 人数	キャン パス
1	社会言語学	ことばと社会の関係を学ぶ	石川弓子	春	月	2	5	日進
2	英語学入門	英語の歴史、英語の特徴	藤田賢	春	月	4	5	日進
3	Business English a	シーン毎に使い分けるビジネス英語	道添栄一	春	火	3	4	日進
4	ドイツ語会話 I	ドイツ語会話の基礎を学ぶ	三宅恭子	春	火	3	15	日進
5	言語・文化と教育入門	第二言語習得・応用心理言語学	藤田賢	秋	火	2	5	日進
6	Business English b	国際ビジネスと異文化理解	道添栄一	秋	火	3	4	日進
7	ドイツ語会話 II	ドイツ語会話の基礎を学ぶ	三宅恭子	秋	火	3	15	日進
8	第2言語習得論	言葉の習得メカニズム	上田恒雄	春	木	2	5	日進
9	日本語学 I	ことばの仕組みを探ろう。	多門靖容	春	木	2	10	日進
10	日本語学 II	ことばの仕組みを探ろう。	多門靖容	秋	木	2	10	日進
11	Interpreter Guide	英語運用能力を高めながら自国文化や歴史に対する知識を深め発信しよう	山田貴将	秋	木	4	2	日進
12	Historical Affairs	Studying history in English	C.A.スミス	春	金	3	15	日進
13	英語研究特講 I a	言語と社会	前田満	春	金	3	5	日進
14	英語研究特講 I b	言語とコミュニケーションの仕組み	前田満	秋	金	3	5	日進

宗教

講義 番号	科目名	副題	講師名	学期	曜日	時限	募集 人数	キャン パス
15	宗教社会学Ⅰ	現代世界の宗教と社会	熊田一雄	春	月	2	5	日進
16	インド仏教の思想Ⅰ	ナーガールジュナ(龍樹)著『中論』を読む	石田尚敬	春	月	3	10	日進
17	宗教文化史Ⅰ	神話の世界へようこそ①	小林奈央子	春	月	3	7	日進
18	仏教の歴史Ⅰ	『法顕伝』を通してインド仏教の姿を知る	石田尚敬	春	月	4	3	日進
19	現代社会と宗教Ⅰ	宗教とスピリチュアリティへのアプローチ	伊藤雅之	春	月	4	10	日進
20	宗教社会学Ⅱ	現代世界の宗教と社会	熊田一雄	秋	月	2	5	日進
21	インド仏教の思想Ⅱ	ナーガールジュナ(龍樹)著『中論』を読む	石田尚敬	秋	月	3	10	日進
22	宗教文化史Ⅱ	神話の世界へようこそ②	小林奈央子	秋	月	3	7	日進
23	仏教の歴史Ⅱ	『法顕伝』を通してインド仏教の姿を知る	石田尚敬	秋	月	4	3	日進
24	現代社会と宗教Ⅱ	宗教共同体とユダヤ・キリスト教文化	伊藤雅之	秋	月	4	10	日進
25	禅の思想Ⅰ－Ⅰ	道元思想の源泉、『宝慶記』に学ぶ	清野宏道	春	火	2	15	日進
26	禅の思想Ⅰ－Ⅱ	鎌倉仏教と道元禅、『正法眼蔵』に学ぶ道元のまなざし	清野宏道	秋	火	2	15	日進
27	国際関係史Ⅰ	「民族浄化」と「ジェノサイド」を再考する	門間卓也	春	水	2	5	日進
28	仏典講読Ⅰ	『法華経』を読む	引田弘道	春	水	4	5	日進
29	仏典講読Ⅱ	『法華経』を読む	引田弘道	秋	水	4	5	日進
30	仏教と文化Ⅰ	現代に受け継がれる日本仏教の思想と文化	木村文輝	春	木	1	15	日進
31	宗教心理学Ⅰ	現代日本の宗教心理複合運動	熊田一雄	春	木	1	5	日進
32	仏教と文化Ⅱ	無宗教日本の葬式仏教	木村文輝	秋	木	1	15	日進
33	宗教心理学Ⅱ	現代日本の宗教、心理複合運動	熊田一雄	秋	木	1	5	日進
34	宗教と民俗文化Ⅰ	私たちの身近にある民俗宗教①	小林奈央子	春	金	2	7	日進
35	宗教と民俗文化Ⅱ	私たちの身近にある民俗宗教②	小林奈央子	秋	金	2	7	日進

文化・歴史

講義 番号	科目名	副題	講師名	学期	曜日	時限	募集 人数	キャン パス
36	東洋史特殊講義B-I	中華民国の成立からアジア太平洋戦争までの中国近代史	広中一成	春	月	3	5	日進
37	東西交渉史 I	ソグド人と中国	松下憲一	春	月	3	15	日進
38	地域史特殊研究C-I	戦国・織豊期の三河	松島周一	春	月	4	10	日進
39	東洋史特殊講義B-II	中華民国の成立からアジア太平洋戦争の終結までの中国近代史	広中一成	秋	月	3	5	日進
40	古文書学 II	日本近世の古文書を読む	中川すがね	秋	月	4	7	日進
41	地域史特殊研究C-II	戦国・織豊期の尾張	松島周一	秋	月	4	10	日進
42	古典文学研究 I	王朝の和歌を読む	川名淳子	春	火	2	10	日進
43	日本の思想 I	日本思想史(古代から近世初期まで)	下川玲子	春	火	2	10	日進
44	日本史特殊研究A-I	古代・中世の諸問題	松菌斉	春	火	2	10	日進
45	日本の近代文学 I	明治期の小説表現史	吉田遼人	春	火	3	10	日進
46	古典文学研究 II	王朝の和歌を読む	川名淳子	秋	火	2	10	日進
47	日本の思想 II	日本思想史(近世中期から近代まで)	下川玲子	秋	火	2	10	日進
48	日本史特殊研究A-II	古代・中世の女房・女官	松菌斉	秋	火	2	10	日進
49	東洋史特殊研究A-II	北魏の歴史	松下憲一	秋	火	3	15	日進
50	日本の近代文学 II	大正期以降の小説表現史	吉田遼人	秋	火	3	10	日進
51	アジアのなかの日本文化 I	日本文化に取り入れられたインド的世界像	木村文輝	春	水	1	15	日進
52	書道文化4 I	行書古典の学習	明園劉作勝	春	水	2	5	日進
53	日本民俗学 I	身の回りの諸習慣の意味を読み解こう。	蛸島直	春	水	2	5	日進
54	仏教と芸術 I	曼荼羅から読み解く密教的世界観	高橋早紀子	春	水	3	10	日進
55	言語と文化 I	日本語の語彙(基礎編)	三木理	春	水	4	5	日進
56	アジアのなかの日本文化 II	漢字・漢文・漢学の日本文化への影響	小崎智則	秋	水	1	15	日進
57	書道文化4 II	隷書の古典を学ぶ(漢代を中心に)	明園劉作勝	秋	水	2	5	日進
58	日本民俗学 II	日本の口承文芸や俗信を考える。	蛸島直	秋	水	2	5	日進
59	仏教と芸術 II	「法界仏像」から読み解く仏教的世界観	高橋早紀子	秋	水	3	10	日進

文化・歴史

講義番号	科目名	副題	講師名	学期	曜日	時限	募集人数	キャンパス
60	言語と文化Ⅱ	日本語の語彙(ケーススタディ)	三木理	秋	水	4	5	日進
61	イギリス文学研究a	イギリス文学を通して学ぶ歴史と文化	星久美子	春	木	1	5	日進
62	イギリス文学研究b	イギリス文学を通して学ぶ歴史と文化(19世紀以降)	星久美子	秋	木	1	5	日進
63	アメリカ文化特講Ⅰa	アメリカ50番目の州ハワイについて、様々なテーマからアプローチしその特性を知る	高木真理子	春	金	2	5	日進
64	日本の思想Ⅰ	天文と暦と陰陽道	林淳	春	金	2	10	日進
65	アメリカ文化特講Ⅰb	20世紀以降の「アジア系」アメリカ人のコミュニティについて学ぶ	高木真理子	秋	金	2	5	日進
66	日本の思想Ⅱ	近代の国家と宗教	林淳	秋	金	2	10	日進
67	大衆文化論	ブロードウェイ・ミュージカル:アメリカ社会を映し出す鏡	松崎博	秋	金	4	5	日進

心理

講義番号	科目名	副題	講師名	学期	曜日	時限	募集人数	キャンパス
68	スポーツ心理学	「身体活動」と「こころ」の相互作用を知る	石田光男	春	月	4	15	日進

健康

講義番号	科目名	副題	講師名	学期	曜日	時限	募集人数	キャンパス
69	先端医療概論	生命科学の進歩とそれが医療に新たなにもたらすもの	伊藤高行	春	月	4	10	日進

経済

講義番号	科目名	副題	講師名	学期	曜日	時限	募集人数	キャンパス
76	マクロ経済学Ⅰ	国民所得決定の理論	佐橋倫一	春	月	3	5	名城公園
77	マクロ経済学Ⅰ	マクロ経済学の基礎理論	吉田雅彦	春	月	3	5	名城公園
78	マクロ経済学Ⅰ	経済学の「森」全体を鳥瞰する	渡邊隆俊	春	月	3	3	名城公園
79	マクロ経済学Ⅱ	ミクロ経済学の基礎から学ぼう	佐橋倫一	秋	月	3	5	名城公園
80	マクロ経済学Ⅱ	経済学の基本	吉田雅彦	秋	月	3	5	名城公園
81	マクロ経済学Ⅱ	市場の理論の基礎	渡邊隆俊	秋	月	3	3	名城公園
82	ミクロ経済学Ⅰ	総需要-総供給分析と国際マクロ経済学の基礎	王嘉陽	春	火	4	3	名城公園
83	ミクロ経済学Ⅰ	マクロ経済学の基礎理論	岡谷良二	春	火	4	15	名城公園
84	ミクロ経済学Ⅰ	経済学の「森」全体を鳥瞰する	三好向洋	春	火	4	3	名城公園
85	ミクロ経済学Ⅱ	ミクロ経済学の基礎から学ぼう	王嘉陽	秋	火	4	3	名城公園
86	ミクロ経済学Ⅱ	経済学の基礎	岡谷良二	秋	火	4	15	名城公園
87	ミクロ経済学Ⅱ	消費者行動と生産者行動の分析	三好向洋	秋	火	4	3	名城公園

政治

講義番号	科目名	副題	講師名	学期	曜日	時限	募集人数	キャンパス
70	国際研究Ⅰa	グローバル化する社会を理解する	大澤傑	春	月	2	5	日進
71	国際社会論	国際社会の課題・アクター・変化・取り組み	杉山知子	秋	火	1	5	日進

その他

講義 番号	科目名	副題	講師名	学期	曜日	時限	募集 人数	キャン パス
72	産官学連携講座Ⅰ	観光資源論と持続可能な観光	松岡昌幸	春	火	2	10	日進
73	産官学連携講座Ⅱ	持続可能な地域コミュニティのあり 方を考える	松岡昌幸	秋	火	2	10	日進
74	英語研究特講Ⅱb	観光政策論と持続可能な観光	野口朋香	秋	水	1	5	日進
75	コミュニティ論	非言語コミュニケーションの役割につ いて考える	村田尚生	春	木	2	5	日進

講義 番号	学期	ジャンル	科目名		担当者	曜日	時限	人数
1	春	言語	社会言語学		石川弓子	月	2	5
【副題】						開講キャンパス		
ことばと社会の関係を学ぶ						日進		
【講義内容】								
言語政策、多言語社会など、社会と言語の間には密接な関係があります。本講座では、人種、社会的身分、性別、年齢といった社会的な要素と言語の関わり、国語、公用語、言語教育政策のような、国家と社会の関係などについて学びます。文化の違いから生じる「丁寧さ」に対する考え方の違いなどについても学びますので、異文化理解、異文化交流についての理解も深まると思われます。								
【パソコンの利用方法】								
授業では使用しない。Microsoft Teams、WebCampus の利用。								
【Microsoft Teams の利用方法】								
講義資料の配信。チャット(教員への連絡手段のひとつとしてオフィスアワーに記載している)。授業では使用しない。授業欠席時の録画配信。								
【WebCampus の利用方法】								
授業では使用しない。休講、補講等の連絡。								

講義 番号	学期	ジャンル	科目名		担当者	曜日	時限	人数
2	春	言語	英語学入門		藤田賢	月	4	5
【副題】						開講キャンパス		
英語の歴史、英語の特徴						日進		
【講義内容】								
本講義は、英語の発音と綴り、標準英語と英語の変種、英語の歴史などについて、基礎的な知識を身につけ、英語とはどのような言語で、どのようにして今日の英語が確立されたのかについて理解することを目指します。※授業レベル: 上級								
【パソコンの利用方法】								
Microsoft Teams、WebCampus の利用。								
【Microsoft Teams の利用方法】								
課題・レポート等の配信。チャット(教員への連絡手段のひとつとしてオフィスアワーに記載している)。								
【WebCampus の利用方法】								
授業では使用しない。								

講義 番号	学期	ジャンル	科目名	担当者	曜日	時限	人数
3	春	言語	Business English a 	道添栄一	火	3	4
【副題】					開講キャンパス		
シーン毎に使い分けるビジネス英語					日進		
【講義内容】							
ビジネスで実際に遭遇することの多い 15 場面の会話を「聞き」、「話し」、関連パッセージを読み、Email を書くトレーニングを行います。色々なビジネス場面に相応しい会話表現、特に相手との関係性を踏まえた丁寧度別の適切な Email 表現を身に着けることが目標です。中級程度のレベルです。予習を前提に授業を進めます。							
【パソコンの利用方法】							
授業では使用しない。							
【Microsoft Teams の利用方法】							
講義資料の配信。課題・レポート等の配信。チャット(教員への連絡手段のひとつとしてオフィスアワーに記載している)。							
【WebCampus の利用方法】							
授業では使用しない。							

講義 番号	学期	ジャンル	科目名	担当者	曜日	時限	人数
4	春	言語	ドイツ語会話 I	三宅恭子	火	3	15
【副題】					開講キャンパス		
ドイツ語会話の基礎を学ぶ					日進		
【講義内容】							
「習うドイツ語」から「使うドイツ語」を指向します。生きたドイツ語に実践的に対応できるように運用能力を養成します。各回の授業ではドイツ語圏の文化や生活など、ドイツ事情に関する会話を中心にドイツ語の会話力を高めます。あわせてドイツおよびヨーロッパに対する理解を深めます。							
【パソコンの利用方法】							
授業では使用しない。							
【Microsoft Teams の利用方法】							
授業では使用しない。							
【WebCampus の利用方法】							
授業では使用しない。							

講義 番号	学期	ジャンル	科目名		担当者	曜日	時限	人数
5	秋	言語	言語・文化と教育入門		藤田賢	火	2	5
【副題】						開講キャンパス		
第二言語習得・応用心理言語学						日進		
【講義内容】								
第二言語習得研究から外国語学習・外国語教育の在り方について考えます。特に、人間はどのように言語を習得するか、母語と第二言語の関係はどのようになっているか、第二言語習得の認知メカニズム、動機づけなどについて学びます。								
【パソコンの利用方法】								
Microsoft Teams、WebCampus の利用。								
【Microsoft Teams の利用方法】								
課題・レポート等の配信。チャット(教員への連絡手段のひとつとしてオフィスアワーに記載している)。								
【WebCampus の利用方法】								
授業では使用しない。								

講義 番号	学期	ジャンル	科目名		担当者	曜日	時限	人数
6	秋	言語	Business English b		道添栄一	火	3	4
【副題】						開講キャンパス		
国際ビジネスと異文化理解						日進		
【講義内容】								
本講では、教科書でビジネス、文化等に関する記事をまず読みます。CD を聴きながら、国際ビジネスマナー、異文化理解等基本的な英語読解力、単語力、思考力を身につけることを目指すとともに、対話を通じて実用性の高いビジネス英会話の練習をします。中級レベルの内容です。予習を前提に授業を進めます。								
【パソコンの利用方法】								
授業では使用しない。								
【Microsoft Teams の利用方法】								
講義資料の配信。課題・レポート等の配信。チャット(教員への連絡手段のひとつとしてオフィスアワーに記載している)。								
【WebCampus の利用方法】								
授業では使用しない。								

講義 番号	学期	ジャンル	科目名		担当者	曜日	時限	人数
7	秋	言語	ドイツ語会話Ⅱ		三宅恭子	火	3	15
【副題】						開講キャンパス		
ドイツ語会話の基礎を学ぶ						日進		
【講義内容】								
「習うドイツ語」から「使うドイツ語」を指向します。生きたドイツ語に実践的に対応できるように運用能力を養成します。各回の授業ではドイツ語圏の文化や生活など、ドイツ事情に関する会話を中心にドイツ語の会話力を高めます。あわせてドイツおよびヨーロッパに対する理解を深めます。								
【パソコンの利用方法】								
授業では使用しない。								
【Microsoft Teams の利用方法】								
授業では使用しない。								
【WebCampus の利用方法】								
授業では使用しない。								

講義 番号	学期	ジャンル	科目名		担当者	曜日	時限	人数
8	春	言語	第2言語習得論		上田恒雄	木	2	5
【副題】						開講キャンパス		
言葉の習得メカニズム						日進		
【講義内容】								
受講者それぞれに自分自身の外国語学習の経験を振り返ってもらいながら、現在の考え方や研究方法に触れる。さらに英語学習者の英語習得についての研究成果も学び、英語教育への応用の可能性を探る。英語学習者がどのような過程を経て英語を習得していくのかを学ぶと同時に言語習得のメカニズムをふまえた指導方法についての知識を得る。								
【パソコンの利用方法】								
授業では使用しない。								
【Microsoft Teams の利用方法】								
課題・レポート等の配信。								
【WebCampus の利用方法】								
授業では使用しない。								

講義 番号	学期	ジャンル	科目名	担当者	曜日	時限	人数
9	春	言語	日本語学 I	多門靖容	木	2	10
【副題】 ことばの仕組みを探ろう。					開講キャンパス 日進		
【講義内容】 日常言語への内省と問立てを通じ、様々なレベルでのことばの仕組みを探る。春学期は、音、形態素、語を主に扱う。							
【パソコンの利用方法】 授業では使用しない。							
【Microsoft Teams の利用方法】 授業では使用しない。							
【WebCampus の利用方法】 授業では使用しない。							

講義 番号	学期	ジャンル	科目名	担当者	曜日	時限	人数
10	秋	言語	日本語学 II	多門靖容	木	2	10
【副題】 ことばの仕組みを探ろう。					開講キャンパス 日進		
【講義内容】 日常言語への内省と問立てを通じ、様々なレベルでのことばの仕組みを探る。秋学期は、句、文、を主に扱いながら意味と構文について考える。							
【パソコンの利用方法】 授業では使用しない。							
【Microsoft Teams の利用方法】 授業では使用しない。							
【WebCampus の利用方法】 授業では使用しない。							

講義番号	学期	ジャンル	科目名		担当者	曜日	時限	人数
11	秋	言語	Interpreter Guide		山田貴将	木	4	2
【副題】						開講キャンパス		
英語運用能力を高めながら自国文化や歴史に対する知識を深め発信しよう						日進		
【講義内容】								
<p>本授業は、通訳ガイドに関する講義と実技演習を通じて、英語運用能力の土台を固めながら、様々な言語・文化背景を持つ人々と効果的にコミュニケーションを図る力を向上させることを目的としています。また、グローバル社会で活躍するには言語運用能力に加えて、自国の文化や歴史に対する知識を深めることが不可欠です。よって、本授業では、自国の観光名所・地理・文化・歴史に関する基礎知識を習得し、それをシンプルな英語で表現するための力を訓練します。学期末にはそれまでに学んだことを基に英語で(パワーポイント)プレゼンテーションを行います。</p> <p>本講座は、通訳案内士を目指すための講座ではありません。また、中級学習者を対象としています。</p>								
【パソコンの利用方法】								
オフィスアプリケーション(Word、Excel等)の利用。Microsoft Teams、WebCampusの利用。								
【Microsoft Teamsの利用方法】								
講義資料の配信。課題・レポート等の配信。チャット(教員への連絡手段のひとつとしてオフィスアワーに記載している)。								
【WebCampusの利用方法】								
授業では使用しない。								

講義番号	学期	ジャンル	科目名		担当者	曜日	時限	人数
12	春	言語	Historical Affairs		C.A.スミス	金	3	15
【副題】						開講キャンパス		
Studying history in English						日進		
【講義内容】								
<p>この内容言語統合型学習(CLIL)の授業では、戦争、社会運動、様々な歴史的危機など、英語圏の主要な歴史的出来事について学習します。出来事について英語で読み、聞き、話し合います。また、自分たちで調べ、英語でプレゼンテーションを行います。CLILのコースでは、英語と世界に関する知識を楽しく学ぶことができます。</p>								
【パソコンの利用方法】								
授業では使用しない。Microsoft Teams、WebCampusの利用。								
【Microsoft Teamsの利用方法】								
課題・レポート等の配信。チャット(教員への連絡手段のひとつとしてオフィスアワーに記載している)。講義資料の配信。								
【WebCampusの利用方法】								
授業では使用しない。								

講義番号	学期	ジャンル	科目名		担当者	曜日	時限	人数
13	春	言語	英語研究特講 I a		前田満	金	3	5
【副題】						開講キャンパス		
言語と社会						日進		
【講義内容】								
この授業では、視点を大きく広げ、個人ではなく社会集団の視点から言語の社会的役割について学びます。具体的には、社会の構造、性差、民族のアイデンティティーなどが言語に及ぼす影響、言語と方言の使い分け、若者ことば、ことばの変化といった社会言語学的な問題がこの授業の主なテーマです。コミュニケーションを巨視的にとらえることにより、日頃気付かない言語の役割が浮き彫りとなります。								
【パソコンの利用方法】								
授業では使用しない。								
【Microsoft Teams の利用方法】								
講義資料の配信。								
【WebCampus の利用方法】								
講義資料の配信。								

講義番号	学期	ジャンル	科目名		担当者	曜日	時限	人数
14	秋	言語	英語研究特講 I b		前田満	金	3	5
【副題】						開講キャンパス		
言語とコミュニケーションの仕組み						日進		
【講義内容】								
秋学期の授業では、私たちの日常的なコミュニケーション活動と社会における言語の働きについて考えます。コミュニケーションはよく単なる情報のやりとりだと言われますが、これはあまりにも単純な見方です。人と人がことばを交わすとき、私たちは無意識のうちにとても多くの判断を同時にしかも瞬時に行なっています。また、会話をするさいの暗黙のルールがいくつもあります。さらに、実際に言われたことに加え、会話の含みのように本当は何も言っていないのに相手に伝わるメッセージもあります。この授業では、コンテキストの重要性、そして言語の社会行動としての側面に注目し、コミュニケーションの仕組みを明らかにします。また、この授業では、英語におけるコミュニケーションのあり方にも光をあて、日本語のコミュニケーションとの類似点と違いを浮き彫りにします。								
【パソコンの利用方法】								
授業では使用しない。								
【Microsoft Teams の利用方法】								
講義資料の配信。								
【WebCampus の利用方法】								
講義資料の配信。								

講義 番号	学期	ジャンル	科目名		担当者	曜日	時限	人数
15	春	宗教	宗教社会学 I		熊田一雄	月	2	5
【副題】						開講キャンパス		
現代世界の宗教と社会						日進		
【講義内容】								
現代世界における宗教と社会の相関関係を、テキストに沿って、わかりやすく解説する。								
【パソコンの利用方法】								
Microsoft Teams、WebCampus の利用。								
【Microsoft Teams の利用方法】								
講義資料の配信。								
【WebCampus の利用方法】								
授業では使用しない。								

講義 番号	学期	ジャンル	科目名		担当者	曜日	時限	人数
16	春	宗教	インド仏教の思想 I		石田尚敬	月	3	10
【副題】						開講キャンパス		
ナーガールジュナ(龍樹)著『中論』を読む						日進		
【講義内容】								
本講義では、インドにおける仏教思想の展開を扱います。特に、ナーガールジュナ(龍樹)の『中論』とその注釈書について、原典とその翻訳を講読し、インド大乘仏教の理論的な側面を考察したいと思います。								
【パソコンの利用方法】								
Microsoft Teams、WebCampus の利用。								
【Microsoft Teams の利用方法】								
講義資料の配信。課題・レポート等の配信。								
【WebCampus の利用方法】								
授業では使用しない。								

講義番号	学期	ジャンル	科目名	担当者	曜日	時限	人数
17	春	宗教	宗教文化史 I	小林奈央子	月	3	7
【副題】					開講キャンパス		
神話の世界へようこそ①					日進		
【講義内容】							
<p>「神話」は世界各地で生み出され、宇宙や自然の始原、神々の起源や系譜などが記されました。近年では神話が自文明や自民族のルーツや正統性を語るという特色から、神話と近代ナショナリズムの関係に注目する研究も出ています。また神話のキャラクターはアニメやゲームなどのサブカルチャーにも多く取り込まれ、みなさんがよく知っている作品にも登場します。本授業では、世界各地の神話を通して、その地域の文化的特色や宗教について考えます。春学期（I）は、ヨーロッパ・南アジア・西アジアを中心に学んでいきます。</p> <p>一般学生には学期中に Teams を通して課題を出すことがあります。Teams を利用されない開放講座の方へは個別に対応します。</p>							
【パソコンの利用方法】							
授業では使用しない。							
【Microsoft Teams の利用方法】							
授業では使用しない。							
【WebCampus の利用方法】							
授業では使用しない。							

講義番号	学期	ジャンル	科目名	担当者	曜日	時限	人数
18	春	宗教	仏教の歴史 I	 石田尚敬	月	4	3
【副題】					開講キャンパス		
『法顕伝』を通してインド仏教の姿を知る					日進		
【講義内容】							
<p>本講義では、インド仏教の基礎知識を身に付け、インドにおいて成立した仏教の歴史的展開を把握することを目的とします。本年度は、法顕の著作『仏国記』を初めとして、中国からインドへ旅した留学僧たちの著作を取り上げ、インド仏教の歴史をどれほど客観的に見ることができるか、考察していきます。講義では、原典とその翻訳を配布して読解するほか、映像資料も積極的に使用する予定です。</p>							
【パソコンの利用方法】							
Microsoft Teams、WebCampus の利用。							
【Microsoft Teams の利用方法】							
講義資料の配信。課題・レポート等の配信。							
【WebCampus の利用方法】							
授業では使用しない。							

講義番号	学期	ジャンル	科目名		担当者	曜日	時限	人数
19	春	宗教	現代社会と宗教 I		伊藤雅之	月	4	10
【副題】						開講キャンパス		
宗教とスピリチュアリティへのアプローチ						日進		
【講義内容】								
この講義では、わたしたちのものの見方や考え方、感じ方の基盤となるような幅広い現象を宗教文化と捉え、その具体的な内容を検討する。そして受講生たちが身近な文化現象の背後にある広義の宗教への理解を深めていくことを目的とする。春学期は、日本人の宗教意識の特徴をふまえたうえで、1960年代以降に展開した現代スピリチュアリティ文化の特徴について探る。								
授業への感想を Teams に書き込んでいただきますが、むずかしい場合はコメント用紙に手書きでも構いません。								
【パソコンの利用方法】								
授業では使用しない。								
【Microsoft Teams の利用方法】								
講義資料の配信。授業では使用しない。								
【WebCampus の利用方法】								
授業では使用しない。								

講義番号	学期	ジャンル	科目名		担当者	曜日	時限	人数
20	秋	宗教	宗教社会学Ⅱ		熊田一雄	月	2	5
【副題】						開講キャンパス		
現代世界の宗教と社会						日進		
【講義内容】								
現代社会における宗教と社会の関係を、テキストに沿って概説する。								
【パソコンの利用方法】								
授業では使用しない。								
【Microsoft Teams の利用方法】								
講義資料の配信。								
【WebCampus の利用方法】								
授業では使用しない。								

講義番号	学期	ジャンル	科目名	担当者	曜日	時限	人数
21	秋	宗教	インド仏教の思想Ⅱ	 石田尚敬	月	3	10
【副題】					開講キャンパス		
ナーガールジュナ(龍樹)著『中論』を読む					日進		
【講義内容】							
本講義では、インドにおける仏教思想の展開を扱います。特に、ナーガールジュナ(龍樹)の『中論』とその注釈書について、原典とその翻訳を講読し、大乘仏教の理論的な側面を考察します。秋学期の授業では、唯識、中観といった大乘仏教の諸思想がいかに誕生し、学派として意識されていったのかについても解説します。							
【パソコンの利用方法】							
Microsoft Teams、WebCampus の利用。							
【Microsoft Teams の利用方法】							
講義資料の配信。課題・レポート等の配信。							
【WebCampus の利用方法】							
授業では使用しない。							

講義番号	学期	ジャンル	科目名	担当者	曜日	時限	人数
22	秋	宗教	宗教文化史Ⅱ	小林奈央子	月	3	7
【副題】					開講キャンパス		
神話の世界へようこそ②					日進		
【講義内容】							
春学期(Ⅰ)に続く、世界各地の神話の特色について学ぶ授業です。本授業では、春学期(Ⅰ)では扱わなかった、北ヨーロッパ、アジア、北米・南米、オセアニア、アフリカなど幅広い地域の神話を取り上げ、神話自体の内容はもちろんのこと、神話と結びついた祭礼や芸術作品など、神話をめぐる周辺文化についても学びます。また、春学期(Ⅰ)で取り上げた地域の神話との特色の違いについて比較・考察します。 一般学生には学期中に Teams を通して課題を出すことがありますが、Teams を利用されない開放講座の方へは個別に対応致します。							
【パソコンの利用方法】							
授業では使用しない。							
【Microsoft Teams の利用方法】							
授業では使用しない。							
【WebCampus の利用方法】							
授業では使用しない。							

講義番号	学期	ジャンル	科目名		担当者	曜日	時限	人数
23	秋	宗教	仏教の歴史Ⅱ		石田尚敬	月	4	3
【副題】						開講キャンパス		
『法頭伝』を通してインド仏教の姿を知る						日進		
【講義内容】								
本講義では、インド仏教の基礎知識を身に付け、インドにおいて成立した仏教の歴史的展開を把握することを目的とします。本年度は、法頭の著作『仏国記』を初めとして、中国からインドへ旅した留学僧たちの著作を取り上げ、インド仏教の歴史を考察します。講義では、原典とその翻訳を配布して読解するほか、映像資料も積極的に使用する予定です。								
【パソコンの利用方法】								
Microsoft Teams、WebCampus の利用。								
【Microsoft Teams の利用方法】								
講義資料の配信。課題・レポート等の配信。								
【WebCampus の利用方法】								
授業では使用しない。								

講義番号	学期	ジャンル	科目名		担当者	曜日	時限	人数
24	秋	宗教	現代社会と宗教Ⅱ		伊藤雅之	月	4	10
【副題】						開講キャンパス		
宗教共同体とユダヤ・キリスト教文化						日進		
【講義内容】								
この講義では、わたしたちのものの見方や考え方、感じ方の基盤となるような幅広い現象を宗教文化と捉え、その具体的な内容を検討する。そして受講生たちが身近な文化現象の背後にある(広義の)宗教への理解を深めていくことを目的とする。秋学期は、人々の幸福と宗教共同体との関係、および欧米の価値観の基盤となっているユダヤ・キリスト教文化の特徴について概観する。								
授業への感想を Teams に書き込んでいただきますが、むずかしい場合はコメント用紙に手書きでも構いません。								
【パソコンの利用方法】								
授業では使用しない。								
【Microsoft Teams の利用方法】								
授業では使用しない。講義資料の配信。								
【WebCampus の利用方法】								
授業では使用しない。								

講義 番号	学期	ジャンル	科目名	担当者	曜日	時限	人数
25	春	宗教	禅の思想Ⅰ－Ⅰ	清野宏道	火	2	15
【副題】					開講キャンパス		
道元思想の源泉、『宝慶記』に学ぶ					日進		
【講義内容】							
<p>禅の思想を概括的に把握した上で、日本曹洞宗の開祖である道元にスポットを当て、その思想的な特性を学びます。従来、道元の思想は「難解」と評されることが常でした。それは、伝統的な仏教や禅の所説に比べて、「修行」や「さとり」に対する考え方が極めて独創的であることによります。道元は、「日和見的な仏道修行」「安易な理解による満足」といった、旧来の陋習を破ろうとする強い意志をもち、新たな見地に立ったのです。本講義では、道元が学んだ仏道の歩みを通して、道元禅が形成された背景に迫ります。</p>							
【パソコンの利用方法】							
授業では使用しない。							
【Microsoft Teams の利用方法】							
授業では使用しない。							
【WebCampus の利用方法】							
授業では使用しない。							

講義 番号	学期	ジャンル	科目名	担当者	曜日	時限	人数
26	秋	宗教	禅の思想Ⅰ－Ⅱ	清野宏道	火	2	15
【副題】					開講キャンパス		
鎌倉仏教と道元禅、『正法眼蔵』に学ぶ道元のまなざし					日進		
【講義内容】							
<p>鎌倉仏教を踏まえ、道元の思想の特性を学びます。特に、「修行とさとりの関係」を中心に、『正法眼蔵』によって道元禅の基本となる考え方をとらえます。『正法眼蔵』は、道元の著作中、最も大部なものであり、「道元思想の礎」といわれることもあるほど重きが置かれる典籍です。そこには、仏道に対する姿勢や心構えをはじめ、仏教における哲理の探求、そして現代にも通用するような、円満な人生を歩む視点が、仏法を通して綴られています。道元は、仏道をどのようにとらえ、歩むべき人生としたのか。本講義では、その深奥に迫ります。</p>							
【パソコンの利用方法】							
授業では使用しない。							
【Microsoft Teams の利用方法】							
授業では使用しない。							
【WebCampus の利用方法】							
授業では使用しない。							

講義番号	学期	ジャンル	科目名	担当者	曜日	時限	人数
27	春	宗教	国際関係史 I	 門間卓也	水	2	5
【副題】						開講キャンパス	
「民族浄化」と「ジェノサイド」を再考する						日進	
【講義内容】							
20 世紀を振り返ると、世紀転換期におけるアルメニア人虐殺、そして 1990 年代のユーゴ紛争に至るまで、「民族浄化」と「ジェノサイド」が繰り返されたことを確認できる。ただしこの二つの言葉がいかなる状態を指すものかは必ずしも明らかではない。この疑問に対して回答を試みることを目的として、ヨーロッパ史を軸に一連の戦争・紛争の歴史的背景を学びながら、現在の国際関係の成り立ちとその課題について議論したい。							
【パソコンの利用方法】							
オフィスアプリケーション (Word、Excel 等) の利用。Microsoft Teams、WebCampus の利用。							
【Microsoft Teams の利用方法】							
講義資料の配信。チャット(教員への連絡手段のひとつとしてオフィスアワーに記載している)。							
【WebCampus の利用方法】							
授業では使用しない。							

講義番号	学期	ジャンル	科目名	担当者	曜日	時限	人数
28	春	宗教	仏典講読 I	引田弘道	水	4	5
【副題】						開講キャンパス	
『法華経』を読む						日進	
【講義内容】							
『法華経』を読みます。春学期は方便品で、三乗と一乗について解説します。一乗思想が日本仏教に与えた影響も解説します。							
【パソコンの利用方法】							
授業では使用しない。							
【Microsoft Teams の利用方法】							
授業では使用しない。							
【WebCampus の利用方法】							
授業では使用しない。							

講義 番号	学期	ジャンル	科目名	担当者	曜日	時限	人数
29	秋	宗教	仏典講読Ⅱ	引田弘道	水	4	5
【副題】					開講キャンパス		
『法華経』を読む					日進		
【講義内容】							
『法華経』を読みます。秋学期は普門品で、観音信仰について考えてみたいと思います。観音の力を念じることの威力の強さが如何ほどであったのか、考えていきます。							
【パソコンの利用方法】							
授業では使用しない。							
【Microsoft Teams の利用方法】							
授業では使用しない。							
【WebCampus の利用方法】							
授業では使用しない。							

講義 番号	学期	ジャンル	科目名	担当者	曜日	時限	人数
30	春	宗教	仏教と文化Ⅰ	 木村文輝	木	1	15
【副題】					開講キャンパス		
現代に受け継がれる日本仏教の思想と文化					日進		
【講義内容】							
本講義では、現代まで伝わる日本仏教の様々な思想と、それにもとづく日本文化の諸相について、その源流を日本仏教の歴史の中を探ることを目指します。具体的には、日本への仏教伝来から江戸時代までを対象として、それぞれの時代背景の中で成立した思想と文化を時系列にそって概観するとともに、それらが現代の日本において、どのような形で受け継がれているのかを考察します。その一環として、神と仏の共存や、葬式仏教の成り立ちなどにも論究する予定です。							
【パソコンの利用方法】							
授業では使用しない。							
【Microsoft Teams の利用方法】							
授業では使用しない。							
【WebCampus の利用方法】							
受講生への必要情報の伝達。							

講義番号	学期	ジャンル	科目名	担当者	曜日	時限	人数
31	春	宗教	宗教心理学 I	 熊田一雄	木	1	5
【副題】						開講キャンパス	
現代日本の宗教心理複合運動						日進	
【講義内容】							
現代日本における宗教と心理療法の相互乗り入れ現象を扱う。仏教的(浄土真宗的)心理療法=人格修養法である内観療法について、様々な角度から考察する。							
【パソコンの利用方法】							
Microsoft Teams、WebCampus の利用。							
【Microsoft Teams の利用方法】							
講義資料の配信。							
【WebCampus の利用方法】							
授業では使用しない。							

講義番号	学期	ジャンル	科目名	担当者	曜日	時限	人数
32	秋	宗教	仏教と文化 II	 木村文輝	木	1	15
【副題】						開講キャンパス	
無宗教日本の葬式仏教						日進	
【講義内容】							
本講義では、多くの人々が自らのことを「無宗教」と言いながら、その一方で宗教的な事柄に関わっている現代日本の状況を読み解きます。具体的には、明治維新以来の日本における仏教を中心とする宗教史を概観するとともに、現代日本人の「無宗教」意識、「ほとけ」という語にこめられた意味、仏教からみた「尊厳」、葬式仏教の意義と状況などを考察します。テキストには木村文輝著『仏法僧の現在』(八千代出版)を用います。また、本講義は一方的な知識の伝達ではありません。授業の中では、出席者からの意見表明も歓迎したいと思います。							
【パソコンの利用方法】							
授業では使用しない。							
【Microsoft Teams の利用方法】							
授業では使用しない。							
【WebCampus の利用方法】							
受講生への必要情報の伝達。							

講義番号	学期	ジャンル	科目名	担当者	曜日	時限	人数
33	秋	宗教	宗教心理学Ⅱ	 熊田一雄	木	1	5
【副題】					開講キャンパス		
現代日本の宗教、心理複合運動					日進		
【講義内容】							
現代日本における宗教と心理療法の相互乗り入れ現象を扱う。依存症からの「回復」には、患者同士が支え合う「自助グループ」に参加することが必要だが、この自助グループが実は宗教である。それを扱う。							
【パソコンの利用方法】							
授業では使用しない。							
【Microsoft Teams の利用方法】							
講義資料の配信。							
【WebCampus の利用方法】							
授業では使用しない。							

講義番号	学期	ジャンル	科目名	担当者	曜日	時限	人数
34	春	宗教	宗教と民俗文化Ⅰ	小林奈央子	金	2	7
【副題】					開講キャンパス		
私たちの身近にある民俗宗教①					日進		
【講義内容】							
現代の日本では人びとと宗教とのかかわりは希薄であり、「無宗教である」と答える人も少なくありません。しかし、そうした人でも、初詣や盆などの年中行事、墓参りなどはおこなっている場合が多くあります。また、パワースポットめぐりや御朱印集めなどを趣味にしている若者も大勢います。本授業では、そのような、人びとの身近な暮らしのなかに溶け込み、根づいている民俗宗教に着目し、その内容や特色について詳しく学びます。							
一般学生には学期中に Teams を通して課題を出すことがありますが、Teams を利用されない開放講座の方へは個別に対応致します。							
【パソコンの利用方法】							
授業では使用しない。							
【Microsoft Teams の利用方法】							
授業では使用しない。							
【WebCampus の利用方法】							
授業では使用しない。							

講義 番号	学期	ジャンル	科目名	担当者	曜日	時限	人数
35	秋	宗教	宗教と民俗文化Ⅱ	小林奈央子	金	2	7
【副題】					開講キャンパス		
私たちの身近にある民俗宗教②					日進		
【講義内容】							
<p>日本の民俗宗教は、長い歴史のなかで変容を繰り返しつつ醸成されてきました。現在は神話に登場する神々を祭神とする神社も、歴史をさかのぼると仏教に基づく霊場として隆盛を極めていた過去があったり、神と仏が融合する文物や痕跡がいまなお確認できる場所も少なくありません。そうした、身近にありながら意外と知られていない、人びとの間に息づく宗教や信仰について、担当者がフィールドワークで得た知見も交えながら授業をしていきます。一般学生には学期中に Teams を通して課題を出すことがあります。Teams を利用されない開放講座の方へは個別に対応致します。</p>							
【パソコンの利用方法】							
授業では使用しない。							
【Microsoft Teams の利用方法】							
授業では使用しない。							
【WebCampus の利用方法】							
授業では使用しない。							

講義 番号	学期	ジャンル	科目名	担当者	曜日	時限	人数
36	春	文化・歴史	東洋史特殊講義B-I	 広中一成	月	3	5
【副題】					開講キャンパス		
中華民国の成立からアジア太平洋戦争までの中国近代史					日進		
【講義内容】							
<p>中華民国の建国からアジア太平洋戦争が終結するまでの中国近代史をたどる。春学期では、満洲事変までの歴史を取り上げる。</p>							
【パソコンの利用方法】							
授業では使用しない。							
【Microsoft Teams の利用方法】							
講義資料の配信。							
【WebCampus の利用方法】							
授業では使用しない。							

講義 番号	学期	ジャンル	科目名	担当者	曜日	時限	人数
37	春	文化・歴史	東西交渉史 I	松下憲一	月	3	15
【副題】 ソグド人と中国					開講キャンパス 日進		
【講義内容】 東西交易に活躍したソグド人が中国にどのような影響を与えたのかを考えます。							
【パソコンの利用方法】 授業では使用しない。							
【Microsoft Teams の利用方法】 授業では使用しない。							
【WebCampus の利用方法】 授業では使用しない。							

講義 番号	学期	ジャンル	科目名	担当者	曜日	時限	人数
38	春	文化・歴史	地域史特殊研究C-I	松島周一	月	4	10
【副題】 戦国・織豊期の三河					開講キャンパス 日進		
【講義内容】 この時代の三河は、松平氏の台頭、織田・今川氏の進出、徳川家康の自立や武田氏の進攻など、多くの出来事が相次いだ。この講義では、地域の激しい動きをできるだけ整理して、その意味や関連を考えるとともに、それが当時の日本史の展開とどうつながっていくのかを探っていきたい。一回ごとにそれぞれのテーマで講義を進めつつ、全体として一つの流れが見えてくるような構成にできればと考えている。							
【パソコンの利用方法】 授業では使用しない。							
【Microsoft Teams の利用方法】 授業では使用しない。							
【WebCampus の利用方法】 授業では使用しない。							

講義 番号	学期	ジャンル	科目名		担当者	曜日	時限	人数
39	秋	文化・歴史	東洋史特殊講義B-Ⅱ		広中一成	月	3	5
【副題】						開講キャンパス		
中華民国の成立からアジア太平洋戦争の終結までの中国近代史						日進		
【講義内容】								
中華民国の建国からアジア太平洋戦争が終結するまでの中国近代史をたどる。秋学期では、満洲事変からアジア太平洋戦争までの歴史を取り上げる。								
【パソコンの利用方法】								
授業では使用しない。								
【Microsoft Teams の利用方法】								
講義資料の配信。								
【WebCampus の利用方法】								
授業では使用しない。								

講義 番号	学期	ジャンル	科目名		担当者	曜日	時限	人数
40	秋	文化・歴史	古文書学Ⅱ		中川すがね	月	4	7
【副題】						開講キャンパス		
日本近世の古文書を読む						日進		
【講義内容】								
日本近世の古文書の入門的授業です。初歩的な古文書の読解や翻刻の方法、パソコン等でのデジタルアーカイブの検索方法などを学びます。 若尾俊平ほか編『増訂近世古文書解読辞典』柏書房をテキストとして使用します。								
【パソコンの利用方法】								
Microsoft Teams、WebCampus の利用。								
【Microsoft Teams の利用方法】								
課題・レポート等の配信。講義資料の配信。チャット(教員への連絡手段のひとつとしてオフィスアワーに記載している)。								
【WebCampus の利用方法】								
授業では使用しない。								

講義 番号	学期	ジャンル	科目名	担当者	曜日	時限	人数
41	秋	文化・歴史	地域史特殊研究C－Ⅱ	松島周一	月	4	10
【副題】 戦国・織豊期の尾張					開講キャンパス 日進		
【講義内容】 この時代の尾張は、織田弾正忠家の台頭、織田信長の活躍、清須会議後の織田体制と織田信雄の動向、豊臣秀次の入国など多くの出来事によって歴史が紡がれている。それらの意味と関連を考えつつ、さらにそこから当時の日本史を捉え直すような視点も鍛えていきたい。毎回1つずつのテーマを取り上げて講義するが、それらがつながって全体として1つの流れが見えてくるような構成を作っていきたいと考えている。							
【パソコンの利用方法】 授業では使用しない。							
【Microsoft Teams の利用方法】 授業では使用しない。							
【WebCampus の利用方法】 授業では使用しない。							

講義 番号	学期	ジャンル	科目名	担当者	曜日	時限	人数
42	春	文化・歴史	古典文学研究Ⅰ	川名淳子	火	2	10
【副題】 王朝の和歌を読む					開講キャンパス 日進		
【講義内容】 本講座では、『小倉百人一首』でよく知られた和歌を読み解く。恋歌や別れの歌、人生の述懐歌、季節のうつろいを描いた歌など、人の〈こころ〉が生み出した珠玉の〈ことば〉を読み味わう。あわせて歌人にまつわる興味深いエピソードや伝説もたどってゆく。							
【パソコンの利用方法】 授業では使用しない。							
【Microsoft Teams の利用方法】 授業では使用しない。							
【WebCampus の利用方法】 授業では使用しない。							

講義番号	学期	ジャンル	科目名	担当者	曜日	時限	人数
43	春	文化・歴史	日本の思想 I	下川玲子	火	2	10
【副題】					開講キャンパス		
日本思想史(古代から近世初期まで)					日進		
【講義内容】							
この授業は、日本思想史を、それぞれの原典を読解しながら通史的に学ぶものである。神道という基盤の上に、仏教・儒教・西洋思想などの外来思想を受け入れて成立した日本思想の重層性を確認する。春学期に取り上げるのは、『日本書紀』などの古代思想、平安・鎌倉時代の仏教思想と神仏習合思想、近世初期の朱子学思想と神儒習合思想である。テキストは、プリントを配付する。							
【パソコンの利用方法】							
授業では使用しない。							
【Microsoft Teams の利用方法】							
授業では使用しない。							
【WebCampus の利用方法】							
授業では使用しない。							

講義番号	学期	ジャンル	科目名	担当者	曜日	時限	人数
44	春	文化・歴史	日本史特殊研究A-I	松菌齊	火	2	10
【副題】					開講キャンパス		
古代・中世の女房・女官					日進		
【講義内容】							
1.プロローグ 2.令制以前の宮廷女性たち 3.令制の女官Ⅰ後宮十二司 4.令制の女官Ⅱ活躍する女官たち 5.令制の女官の変質・女房の出現 6.平安中期の女房・女官Ⅰ 7.平安中期の女房・女官Ⅱ 8.中世前期(院政期)の女房・女官Ⅰ 9.中世前期(院政期)の女房・女官Ⅱ 10.世前期(鎌倉期)の女房・女官Ⅰ 11.中世前期(鎌倉期)の女房・女官Ⅱ 12.中世後期(南北朝・室町期)の女房・女官Ⅰ 13.中世後期(南北朝・室町期)の女房・女官Ⅱ 14.中世後期(戦国期)の女房・女官Ⅲ 15.中世後期(戦国期)の女房・女官Ⅳ							
【パソコンの利用方法】							
授業では使用しない。							
【Microsoft Teams の利用方法】							
授業では使用しない。							
【WebCampus の利用方法】							
授業では使用しない。							

講義 番号	学期	ジャンル	科目名	担当者	曜日	時限	人数
45	春	文化・歴史	日本の近代文学 I	吉田遼人	火	3	10
【副題】 明治期の小説表現史					開講キャンパス 日進		
【講義内容】 日本が西欧と出会い、近代化を推し進めてゆく明治時代においては、日本語そのものが大きく揺れ動くなかで、文学の言葉もまた新たに組み替えられる必要に迫られました。そうした特別な表現状況のもと、作家たちは、新時代の文学に相応しい〈小説〉をいかに書くかという難題に立ち向かい、さまざまな言語実験を試みることになります。本講義では、その具体的な諸相について、明治期の文学史を彩る文豪の足跡や文芸思潮の変遷をたどりながら考えてゆきます。							
【パソコンの利用方法】 授業では使用しない。							
【Microsoft Teams の利用方法】 授業では使用しない。							
【WebCampus の利用方法】 授業では使用しない。							

講義 番号	学期	ジャンル	科目名	担当者	曜日	時限	人数
46	秋	文化・歴史	古典文学研究 II	川名淳子	火	2	10
【副題】 王朝の和歌を読む					開講キャンパス 日進		
【講義内容】 本講座では、『小倉百人一首』でよく知られた和歌を読み解く。恋歌や別れの歌、人生の述懐歌、季節のうつろいを描いた歌など、人の〈こころ〉が生み出した珠玉の〈ことば〉を読み味わう。あわせて歌人にまつわる興味深いエピソードや伝説も辿ってゆく。							
【パソコンの利用方法】 授業では使用しない。							
【Microsoft Teams の利用方法】 授業では使用しない。							
【WebCampus の利用方法】 授業では使用しない。							

講義番号	学期	ジャンル	科目名	担当者	曜日	時限	人数
47	秋	文化・歴史	日本の思想Ⅱ	下川玲子	火	2	10
【副題】					開講キャンパス		
日本思想史(近世中期から近代まで)					日進		
【講義内容】							
<p>「日本の思想Ⅰ」に引き続き、日本の近世中後期から近代までの思想を扱う。江戸中期には朱子学批判が生じるが、儒教における批判者である伊藤仁斎や荻生徂徠の思想、儒教そのものを否定した本居宣長や平田篤胤の国学思想などを読解する。幕末には尊王攘夷思想が起こるが、明治期になり西洋思想を前端的に受容することになる。この時期の思想家として、福沢諭吉・中江兆民・幸徳秋水などを扱う。テキストはプリントを使用する。</p>							
【パソコンの利用方法】							
授業では使用しない。							
【Microsoft Teams の利用方法】							
授業では使用しない。							
【WebCampus の利用方法】							
授業では使用しない。							

講義番号	学期	ジャンル	科目名	担当者	曜日	時限	人数
48	秋	文化・歴史	日本史特殊研究A－Ⅱ	松菌齊	火	2	10
【副題】					開講キャンパス		
古代・中世の女房・女官					日進		
【講義内容】							
<p>1.プロローグ 2.平安時代の女房と文化Ⅰ 3.平安時代の女房と文化Ⅱ 4.平安時代の女房と文化Ⅲ 5.平安時代の女房と文化Ⅳ 6.中世前期の女房と文化(院政期)Ⅰ 7.中世前期の女房と文化(院政期)Ⅱ 8.中世前期の女房・文化(鎌倉期)Ⅲ 9.中世前期の女房・文化(鎌倉期)Ⅳ 10.中世後期の女房・文化(南北朝・室町期)Ⅰ 11.中世後期の女房・文化(南北朝・室町期)Ⅱ 12.中世後期の女房・文化(南北朝・室町期)Ⅲ 13.中世後期の女房・文化(戦国期) 14.中世後期の女房・文化(戦国期) 15.エピローグ</p>							
【パソコンの利用方法】							
授業では使用しない。							
【Microsoft Teams の利用方法】							
授業では使用しない。							
【WebCampus の利用方法】							
授業では使用しない。							

講義番号	学期	ジャンル	科目名	担当者	曜日	時限	人数
49	秋	文化・歴史	東洋史特殊研究A－Ⅱ	松下憲一	火	3	15
【副題】					開講キャンパス		
北魏の歴史					日進		
【講義内容】							
4世紀から6世紀にかけて中国の華北を支配した遊牧民の王朝・北魏について考察する。							
【パソコンの利用方法】							
授業では使用しない。							
【Microsoft Teams の利用方法】							
授業では使用しない。							
【WebCampus の利用方法】							
授業では使用しない。							

講義番号	学期	ジャンル	科目名	担当者	曜日	時限	人数
50	秋	文化・歴史	日本の近代文学Ⅱ	吉田遼人	火	3	10
【副題】					開講キャンパス		
大正期以降の小説表現史					日進		
【講義内容】							
明治40年前後、日本の近代文学は確立期を迎えるに至りました。しかしながら、その事實は、〈小説〉をいかに書くかという問題が解消されたことを意味しません。大正、昭和と時代が推移しても、〈小説〉表現は新しい感性によって模索され続け、その問題意識は現代文学の担い手たちにもなお抱かれています。本講義では、その具体的な諸相について、大正期以降の文学史を彩る文豪の足跡や現代作家の活躍に目を向けながら考えてゆきます。							
【パソコンの利用方法】							
授業では使用しない。							
【Microsoft Teams の利用方法】							
授業では使用しない。							
【WebCampus の利用方法】							
授業では使用しない。							

講義 番号	学期	ジャンル	科目名	担当者	曜日	時限	人数
51	春	文化・歴史	アジアのなかの日本文化 I	 木村文輝	水	1	15
【副題】						開講キャンパス	
日本文化に取り入れられたインド的世界像						日進	
【講義内容】							
日本の文化には、仏教を通して取り入れられた様々なインド的な要素が含まれています。本講義では、その中から六道輪廻、須弥山世界、多彩な神々(天部)など、世界像にまつわる事柄を取り上げます。また、それらの事柄に由来する日本語の単語についても考察します。講義内容は仏教に関連したものになりますが、教義そのものを論ずるのではなく、インド的な世界観がどのような形で日本人に受け入れられたのかを検討したいと思います。なお、教材はプリントを配布します。							
【パソコンの利用方法】							
授業では使用しない。							
【Microsoft Teams の利用方法】							
授業では使用しない。							
【WebCampus の利用方法】							
受講生への必要情報の伝達。							

講義 番号	学期	ジャンル	科目名	担当者	曜日	時限	人数
52	春	文化・歴史	書道文化4 I	明園劉作勝	水	2	5
【副題】						開講キャンパス	
行書古典の学習						日進	
【講義内容】							
行書の古典を鑑賞することにより、時代的背景・作者の個性・人物・思想等を総合的に理解する。また、臨書を通して、行書表現(技法)の多様性や各自の独自性を学び、今後の創作的な表現に活かす能力を育成する。 書道道具一式を用意してください。但し、下敷きは不要です。							
【パソコンの利用方法】							
授業では使用しない。							
【Microsoft Teams の利用方法】							
授業では使用しない。							
【WebCampus の利用方法】							
授業では使用しない。							

講義番号	学期	ジャンル	科目名	担当者	曜日	時限	人数
53	春	文化・歴史	日本民俗学 I	蛸島直	水	2	5
【副題】					開講キャンパス		
身の回りの諸習慣の意味を読み解こう。					日進		
【講義内容】							
日本民俗学の幅広い研究対象のうち、食文化や贈答、年中行事、そしてそれらの地域差に目を向けるとともに日本民俗学の資料収集・操作方法を検討する。身の回りの諸習慣の意味や機能、そして起源を読み解こうとする姿勢や力を養い、併せて聞き取りと観察の方法を教室内ではありながら学習したい。							
【パソコンの利用方法】							
授業では使用しない。							
【Microsoft Teams の利用方法】							
授業では使用しない。							
【WebCampus の利用方法】							
授業では使用しない。							

講義番号	学期	ジャンル	科目名	担当者	曜日	時限	人数
54	春	文化・歴史	仏教と芸術 I	 高橋早紀子	水	3	10
【副題】					開講キャンパス		
曼荼羅から読み解く密教的世界観					日進		
【講義内容】							
平安時代、空海によって密教が請来され、曼荼羅をはじめとする密教美術の名品が数多く生み出されました。本講義では、密教美術の中でも特に重要な位置を占める曼荼羅を取り上げ、構図や図像の分析を通して密教的世界観を読み解きます。授業形態は講義・グループワーク・授業内テスト・見学会からなり、講義ではパワーポイントを用いて多くの画像を提示し、適宜レジュメを配布します。							
講義では Teams を併用しますが、PC や Teams が使えなくても聴講可能です。学生を中心としたグループワーク(3回分を予定)や授業内テスト(1回分を予定)、美術館・博物館の見学会(別日振替で1回分を予定)等が含まれます。							
【パソコンの利用方法】							
Microsoft Teams、WebCampus の利用。							
【Microsoft Teams の利用方法】							
講義資料の配信。課題・レポート等の配信。チャット(教員への連絡手段のひとつとしてオフィスアワーに記載している)。							
【WebCampus の利用方法】							
授業では使用しない。							

講義番号	学期	ジャンル	科目名	担当者	曜日	時限	人数
55	春	文化・歴史	言語と文化 I	 三木理	水	4	5
【副題】						開講キャンパス	
日本語の語彙(基礎編)						日進	
【講義内容】							
<p>ことばの研究に関しては様々な分野がありますが、この授業では語彙論の分野に立って日本語の語彙について学び、理解を深めることを目的とします。具体的には、日本語の個々の語について、様々な例を採り上げながら、構造と意味の両面から考察していく予定です。単に「単語をたくさんおぼえる」ということよりも、単語を違った視点から考察することや、その成り立ちや意味に興味を惹かれる皆さんの聴講を歓迎します。</p> <p>授業資料や課題を、印刷物として配布することは原則としてありません。事前のガイダンス等において、Microsoft Teams の操作への習熟をお願いいたします。学期中は、大学のサポートデスクもご活用ください。(Teams に関して、教師と学生とでは画面や操作法が異なる場合があるため、皆さんの質問に対して十分に対応 できない場合があります。どうかご了承ください。)</p>							
【パソコンの利用方法】							
Microsoft Teams、WebCampus の利用。							
【Microsoft Teams の利用方法】							
講義資料の配信。課題・レポート等の配信。チャット(教員への連絡手段のひとつとしてオフィスアワーに記載している)。							
【WebCampus の利用方法】							
授業では使用しない。							

講義番号	学期	ジャンル	科目名	担当者	曜日	時限	人数
56	秋	文化・歴史	アジアのなかの日本文化 II	小崎智則	水	1	15
【副題】						開講キャンパス	
漢字・漢文・漢学の日本文化への影響						日進	
【講義内容】							
<p>日本文化に対して、歴史的にとりわけ大きな影響を与えているのが中国の文化です。中国の文化は、外交使節や留学僧、貿易を通して直接に、あるいは朝鮮半島を経由して、漢籍と共に日本に伝わり、様々な形で現在に受け継がれています。インド発祥の仏教でさえ、少なからず中国文化のフィルターを透過して日本に到達しています。本講義では、そうした中国の漢字や漢文の世界が、どのように日本の言語・文学・思想に受容されてきたのかを概観したいと思います。なお、教材はプリントを配布します。</p>							
【パソコンの利用方法】							
授業では使用しない。							
【Microsoft Teams の利用方法】							
授業では使用しない。							
【WebCampus の利用方法】							
授業では使用しない。							

講義 番号	学期	ジャンル	科目名	担当者	曜日	時限	人数
57	秋	文化・歴史	書道文化4Ⅱ	明園劉作勝	水	2	5
【副題】 隷書の古典を学ぶ(漢代を中心に)					開講キャンパス 日進		
【講義内容】 石刻・木簡隷書の歴史的な位置付けを理解し、隷書の書風の多様性について学ぶ。古典の臨書により、隷書の用筆・運筆法や結構法を理解し、表現技法の幅をもたせる。 書道道具一式を用意してください。但し下敷きは不要です。							
【パソコンの利用方法】 授業では使用しない。							
【Microsoft Teams の利用方法】 授業では使用しない。							
【WebCampus の利用方法】 授業では使用しない。							

講義 番号	学期	ジャンル	科目名	担当者	曜日	時限	人数
58	秋	文化・歴史	日本民俗学Ⅱ	蛸島直	水	2	5
【副題】 日本の口承文芸や俗信を考える。					開講キャンパス 日進		
【講義内容】 日本民俗学の幅広い研究対象のうち、口承文芸(昔話・伝説・都市伝説など)や俗信(呪術・禁忌・予兆・ト占・妖怪・幽霊・民間医療)を主たる対象にし、その成立背景や法則性を考える。なにげなく語られる伝承の意味や背景を読み解きます。							
【パソコンの利用方法】 授業では使用しない。							
【Microsoft Teams の利用方法】 授業では使用しない。							
【WebCampus の利用方法】 授業では使用しない。							

講義番号	学期	ジャンル	科目名		担当者	曜日	時限	人数
59	秋	文化・歴史	仏教と芸術Ⅱ		高橋早紀子	水	3	10
【副題】						開講キャンパス		
「法界仏像」から読み解く仏教的世界観						日進		
【講義内容】								
<p>「法界仏像」とは、仏身や着衣の上に仏教的世界を象徴する様々なモチーフ(諸形象)が表された特殊な如来像の総称です。本講義では、こうした「法界仏像」の作例を取り上げ、諸形象の解釈や図像変遷の分析を通して仏教的世界観を読み解きます。授業形態は講義・グループワーク・授業内テスト・見学会からなり、講義ではパワーポイントを用いて多くの画像を提示し、適宜レジュメを配布します。</p> <p>講義では Teams を併用しますが、PC や Teams が使えなくても聴講可能です。学生を中心としたグループワーク(3回分を予定)や授業内テスト(1回分を予定)、美術館・博物館の見学会(別日振替で1回分を予定)等が含まれます。</p>								
【パソコンの利用方法】								
Microsoft Teams、WebCampus の利用。								
【Microsoft Teams の利用方法】								
講義資料の配信。課題・レポート等の配信。チャット(教員への連絡手段のひとつとしてオフィスアワーに記載している)。								
【WebCampus の利用方法】								
授業では使用しない。								

講義番号	学期	ジャンル	科目名		担当者	曜日	時限	人数
60	秋	文化・歴史	言語と文化Ⅱ		三木理	水	4	5
【副題】						開講キャンパス		
日本語の語彙(ケーススタディ)						日進		
【講義内容】								
<p>「言語と文化Ⅰ」で学んだことを基礎として、日本語の語彙について更に深く学び、理解を深めることを目的とします。具体的な事例(地名、人名等)を採り上げ、その特徴などについて考察していくつもりです。また、折に触れて他言語の事例を紹介したり、他分野からの視点を紹介する機会もあるかと思えます。語彙(単語)に関する「豆知識」を増やしていくことよりも、学術的に考察することのおもしろさを味わいたい皆さんの聴講を歓迎します。</p> <p>授業資料や課題を、印刷物として配布することは原則としてありません。事前のガイダンス等において、Microsoft Teams の操作への習熟をお願いいたします。学期中は、大学のサポートデスクもご活用ください。(Teams に関して、教師と学生とでは画面や操作法が異なる場合があるため、皆さんの質問に対して十分に対応 できない場合があります。どうかご了承ください。)</p>								
【パソコンの利用方法】								
Microsoft Teams、WebCampus の利用。								
【Microsoft Teams の利用方法】								
講義資料の配信。課題・レポート等の配信。チャット(教員への連絡手段のひとつとしてオフィスアワーに記載している)。								
【WebCampus の利用方法】								
授業では使用しない。								

講義番号	学期	ジャンル	科目名		担当者	曜日	時限	人数
61	春	文化・歴史	イギリス文学研究 a		星久美子	木	1	5
【副題】						開講キャンパス		
イギリス文学を通して学ぶ歴史と文化						日進		
【講義内容】								
この授業では、最も古いイギリス文学と言われている『ベーオウルフ』から 19 世紀に至るイギリス文学史を概観し、各時代を代表する作品について作者の生涯、あらすじ、登場人物の描写、英語表現、主題・技法、歴史的・社会的・文化的背景などについて学びます。								
【パソコンの利用方法】								
Microsoft Teams、WebCampus の利用。								
【Microsoft Teams の利用方法】								
講義資料の配信。								
【WebCampus の利用方法】								
授業では使用しない。								

講義番号	学期	ジャンル	科目名		担当者	曜日	時限	人数
62	秋	文化・歴史	イギリス文学研究 b		星久美子	木	1	5
【副題】						開講キャンパス		
イギリス文学を通して学ぶ歴史と文化(19 世紀以降)						日進		
【講義内容】								
この授業では、19 世紀、とくにヴィクトリア朝から現代に至るイギリスおよびイギリス以外の英語圏の文学を概観し、各時代を代表する作品について作者の生涯、あらすじ、登場人物の描写、英語表現、主題・技法、歴史的・社会的・文化的背景などについて学びます。								
【パソコンの利用方法】								
Microsoft Teams、WebCampus の利用。								
【Microsoft Teams の利用方法】								
課題・レポート等の配信。講義資料の配信。								
【WebCampus の利用方法】								
授業では使用しない。								

講義番号	学期	ジャンル	科目名		担当者	曜日	時限	人数
63	春	文化・歴史	アメリカ文化特講 I a		高木真理子	金	2	5
【副題】						開講キャンパス		
アメリカ50番目の州ハワイについて、様々なテーマからアプローチしその特性を知る						日進		
【講義内容】								
<p>ハワイがアメリカの帝国主義的進出によりその領土となるプロセスを辿る。そしてハワイへ渡った多様な移民の中でも最大のグループとなった日本人移民の経験を、文献資料(日本語、英語)や映像を通して学び、グループ・ディスカッションなどを通じて「追体験」する。WASP の少数寡頭支配のもとで苦しんだ底辺の労働者の待遇改善への戦い、日米両政府の移民政策の影響、ハワイにおけるアメリカ化の問題、先住民と移民の子孫の間の軋轢などについて深く考察する。</p>								
【パソコンの利用方法】								
Microsoft Teams、WebCampus の利用。								
【Microsoft Teams の利用方法】								
講義資料の配信。課題・レポート等の配信。チャット(教員への連絡手段のひとつとしてオフィスアワーに記載している)。								
【WebCampus の利用方法】								
授業では使用しない。								

講義番号	学期	ジャンル	科目名		担当者	曜日	時限	人数
64	春	文化・歴史	日本の思想 I		林淳	金	2	10
【副題】						開講キャンパス		
天文と暦と陰陽道						日進		
【講義内容】								
<p>江戸時代の天文・暦を陰陽道とのかかわりから考える。古代以来、天文観測や造暦は陰陽寮の役人によって行われてきた。しかし朝廷の機能が衰えると、天文観測や造暦は衰退したが、朝廷の外側で地方暦が作られるようになった。江戸時代になると、幕府の政治権力を独占し、天文観測や造暦も幕府の天文方で行われるようになる。改暦をめぐる思想史と科学史の交差する分野を探求したい。</p> <p>出席が大事</p>								
【パソコンの利用方法】								
授業では使用しない。								
【Microsoft Teams の利用方法】								
講義資料の配信。チャット(教員への連絡手段のひとつとしてオフィスアワーに記載している)。								
【WebCampus の利用方法】								
授業では使用しない。								

講義番号	学期	ジャンル	科目名		担当者	曜日	時限	人数
65	秋	文化・歴史	アメリカ文化特講 I b		高木真理子	金	2	5
【副題】						開講キャンパス		
20世紀以降の「アジア系」アメリカ人のコミュニティについて学ぶ						日進		
【講義内容】								
アメリカにおける日系、中国系、フィリピン系などの戦前の移民の経験を理解した上で、資料(日本語、英語)を読み解きながら、第二次大戦中・戦後から最近までの各アジア系アメリカ人コミュニティのアメリカにおける経験を概観する。移民一世、二世のオーラルヒストリーなどを通じ、社会背景と移民の経験について学び、特に、移民母国とアメリカとの国際関係やアメリカにおける偏見との戦いの意味を探る。特に戦時中の日系人強制収容については、映像や資料を通じてその背景を理解し、現在のアジア系のおかれている状況についても考察したい。								
【パソコンの利用方法】								
Microsoft Teams、WebCampus の利用。								
【Microsoft Teams の利用方法】								
講義資料の配信。課題・レポート等の配信。チャット(教員への連絡手段のひとつとしてオフィスアワーに記載している)。								
【WebCampus の利用方法】								
授業では使用しない。								

講義番号	学期	ジャンル	科目名		担当者	曜日	時限	人数
66	秋	文化・歴史	日本の思想 II		林淳	金	2	10
【副題】						開講キャンパス		
近代の国家と宗教						日進		
【講義内容】								
明治維新で国家と宗教との関係は激変した。廃仏毀釈の対象になった寺院や霊山は破壊された。伊勢神宮は、御師が廃止となって神宮のまわりの景観は変わった。キリスト教は禁教ではなくなって、英語教育、女子教育で人気をとった。何よりも天皇が神聖な君主として崇敬され礼拝の対象になった。しかし敗戦で神聖な君主は、象徴になって一変する。								
【パソコンの利用方法】								
授業では使用しない。								
【Microsoft Teams の利用方法】								
講義資料の配信。								
【WebCampus の利用方法】								
授業では使用しない。								

講義番号	学期	ジャンル	科目名		担当者	曜日	時限	人数
67	秋	文化・歴史	大衆文化論		松崎博	金	4	5
【副題】						開講キャンパス		
ブロードウェイ・ミュージカル:アメリカ社会を映し出す鏡						日進		
【講義内容】								
アメリカ大衆文化の華、ブロードウェイ・ミュージカルを、音源や映像資料などを使いながら、娯楽作品としてだけではなく、その時々アメリカ社会を映すか鏡として検討します。新規の映画公開、映像ソフトの発売、公演スケジュールにより、シラバスが変更されることがあります。								
【パソコンの利用方法】								
Microsoft Teams、WebCampus の利用。								
【Microsoft Teams の利用方法】								
チャット(教員への連絡手段のひとつとしてオフィスアワーに記載している)。講義資料の配信。								
【WebCampus の利用方法】								
レポート課題登録。								

講義番号	学期	ジャンル	科目名		担当者	曜日	時限	人数
68	春	心理	スポーツ心理学		石田光男	月	4	15
【副題】						開講キャンパス		
「身体活動」と「こころ」の相互作用を知る						日進		
【講義内容】								
スポーツ心理学は、運動パフォーマンスに伴う情報処理過程、心理的コンディショニング、スポーツ活動によるメンタルヘルスなどを対象とする応用的な分野として位置づけられる。本講義では、動機づけ、運動学習と運動制御、情動、運動に関与する知覚情報処理のプロセスを解説する。また心理学的視点から身体活動によって得られる様々な健康維持機能についても紹介する。								
【パソコンの利用方法】								
Microsoft Teams、WebCampus の利用。								
【Microsoft Teams の利用方法】								
講義資料の配信。								
【WebCampus の利用方法】								
授業では使用しない。								

講義番号	学期	ジャンル	科目名	担当者	曜日	時限	人数
69	春	健康	先端医療概論	伊藤高行	月	4	10
【副題】					開講キャンパス		
生命科学の進歩とそれが医療に新たにもたらすもの					日進		
【講義内容】							
先端医療の基礎にある生命科学領域は日々急速に進歩している。特に生命活動を分子レベルで捉える分子生物学やデジタル技術の飛躍的な進歩は、遺伝子診断、遺伝子治療、分子標的薬、再生医療などの新たな領域を生み出し、また診断技術、治療技術や遠隔地医療にも大きな進歩をもたらしている。これらの新たな医療とその基礎にある知識発展と技術進歩を、できるだけ一般向けに概説し、できればそれらの技術革新に伴う新たな倫理的問題にも触れたい。							
【パソコンの利用方法】							
授業では使用しない。							
【Microsoft Teams の利用方法】							
授業では使用しない。							
【WebCampus の利用方法】							
授業では使用しない。							

講義番号	学期	ジャンル	科目名	担当者	曜日	時限	人数
70	春	政治	国際研究 I a	 大澤傑	月	2	5
【副題】					開講キャンパス		
グローバル化する社会を理解する					日進		
【講義内容】							
国際関係という概念はどのように誕生したのか。グローバル化が進展する国際社会において、国家、国際機関、NGO、企業等の役割は何か。国際関係の理論はどのように構築されてきたのか。本講義では、現在発生している国際問題はどのような構造によって起きるのかを多角的な視点から捉えるとともに、諸外国の人々との相互理解を促進するため、国際関係論の基礎的な知識を身に着けることを目指します。また、国際社会における日本の立場を理解し、グローバルに活躍できる能力を養います。							
【パソコンの利用方法】							
Microsoft Teams、WebCampus の利用。							
【Microsoft Teams の利用方法】							
講義資料の配信。課題・レポート等の配信。チャット(教員への連絡手段のひとつとしてオフィスアワーに記載している)。							
【WebCampus の利用方法】							
授業では使用しない。							

講義番号	学期	ジャンル	科目名	担当者	曜日	時限	人数
71	秋	政治	国際社会論	 杉山知子	火	1	5
【副題】					開講キャンパス		
国際社会の課題・平和・取り組み					日進		
【講義内容】							
授業では、国際社会とは何か、その歴史的背景、20世紀から今日まで国際社会にはどのような課題があるのか、国際社会と国際関係はどのようにリンクしているのか、具体例をあげながら検討していきます。授業時に資料を配布する予定です。							
【パソコンの利用方法】							
授業では使用しない。							
【Microsoft Teams の利用方法】							
講義資料の配信。課題・レポート等の配信。							
【WebCampus の利用方法】							
授業では使用しない。							

講義番号	学期	ジャンル	科目名	担当者	曜日	時限	人数
72	春	その他	産官学連携講座 I	松岡昌幸	火	2	10
【副題】					開講キャンパス		
観光資源論と持続可能な観光					日進		
【講義内容】							
春期の授業では、観光まちづくりの基本である観光資源(観光地形成の基盤、観光地経営の動力源等)に着目し、日進市に点在する観光資源の相貌や特徴を解明する。また宗教学、経済学、民俗学、観光学等の視点から、日進市に根ざす観光資源(観光 SDGs)の可能性を考察する。講師陣は産業振興課等の観光資源に関わる職員や、観光まちづくり協会関連職員、大学講師の混合によるオムニバス形式による連携講座。また当授業における優秀者には、日進市から「観光 SDGs 終了認定書」が授与される(予定)。							
【パソコンの利用方法】							
授業では使用しない。							
【Microsoft Teams の利用方法】							
授業では使用しない。							
【WebCampus の利用方法】							
授業では使用しない。							

講義番号	学期	ジャンル	科目名	担当者	曜日	時限	人数
73	秋	その他	産官学連携講座Ⅱ	松岡昌幸	火	2	10
【副題】					開講キャンパス		
観光政策論と持続可能な観光					日進		
【講義内容】							
<p>秋期の授業では、観光政策に着目し、観光まちづくりに必要な基礎的な知識や汎用的な技能を身に付ける。また、日進市が推進する「ぐるぐる日進」にも触れ、観光政策に関する実践的かつ実務的な知識を修得する。さらに、社会学、宗教学、経済学、民俗学、英語教育、ホスピタリティ・マネジメント等の視点から、日進市で有効な観光政策(観光 SDGs)を考察する。講師陣は日進観光まちづくり協会職員、大学講師の混合によるオムニバス形式の連携講座で、当授業における優秀者には、日進市から「観光 SDGs 修了認定書」が授与される(予定)。</p>							
【パソコンの利用方法】							
授業では使用しない。							
【Microsoft Teams の利用方法】							
授業では使用しない。							
【WebCampus の利用方法】							
授業では使用しない。							

講義番号	学期	ジャンル	科目名	担当者	曜日	時限	人数
74	秋	その他	英語研究特講Ⅱb	 野口朋香	水	1	5
【副題】					開講キャンパス		
非言語コミュニケーションの役割について考える					日進		
【講義内容】							
<p>この授業では、文化を非言語コミュニケーションの見地から考えていきます。主に日米での非言語行動を比較しながら、私達が意識的・無意識的に行うコミュニケーションのプロセスで、非言語コミュニケーションが人間関係のなかでどのような役割を果たしているかについて考察します。</p>							
【パソコンの利用方法】							
Microsoft Teams、WebCampus の利用。							
【Microsoft Teams の利用方法】							
講義資料の配信。							
【WebCampus の利用方法】							
レポート課題登録。							

講義番号	学期	ジャンル	科目名		担当者	曜日	時限	人数
75	春	その他	コミュニティ論		村田尚生	木	2	5
【副題】						開講キャンパス		
持続可能な地域コミュニティのあり方を考える						日進		
【講義内容】								
<p>「無縁社会」という言葉が象徴するように、現代の日本社会は様々な関係性がとぎれ、孤独死や自殺、ひきこもりなど人々の暮らしは不安の中にあります。こうした中、コミュニティの存在価値を改めて認識する必要があります。</p> <p>そこで、これまで主に欧米でなされてきたコミュニティに関する言説をひも解きながら、日本人がとってきた地域のつながりを見直すことで、これからのコミュニティのあり方について考察します。さらには希薄化したコミュニティの関係性を再生し持続可能とするための方策について検討します。</p> <p>各回、事前に配布される授業資料を読み、講義内でのディスカッションに参加してください。</p>								
【パソコンの利用方法】								
Microsoft Teams、WebCampus の利用。オフィスアプリケーション (Word、Excel 等) の利用。								
【Microsoft Teams の利用方法】								
講義資料の配信。課題・レポート等の配信。授業欠席時の録画配信。チャット(教員への連絡手段のひとつとしてオフィスアワーに記載している)。								
【WebCampus の利用方法】								
授業では使用しない。								

講義番号	学期	ジャンル	科目名		担当者	曜日	時限	人数
76	春	経済	マクロ経済学 I		佐橋倫一	月	3	5
【副題】						開講キャンパス		
国民所得決定の理論						名城公園		
【講義内容】								
<p>マクロ経済学 I では、一国の経済活動を財市場・貨幣市場を中心に分析する。主要なマクロ経済指標である国内総生産 (GDP) や三面等価の原則といった国民経済計算の諸概念、GDP デフレーターや消費者物価指数の計算方法などを学ぶ。45 度線分析を用いて財市場の均衡である均衡 GDP の決定や乗数効果について学習する。また、貨幣の機能や信用創造過程、中央銀行の役割や代表的な金融政策の手法を学ぶ。以上を踏まえ、財市場と貨幣市場の同時均衡を考える IS-LM 分析に進み、財政金融政策の効果やその有効性について概観する。</p>								
【パソコンの利用方法】								
授業では使用しない。								
【Microsoft Teams の利用方法】								
講義資料の配信。課題・レポート等の配信。								
【WebCampus の利用方法】								
授業では使用しない。								

講義番号	学期	ジャンル	科目名		担当者	曜日	時限	人数
77	春	経済	マクロ経済学 I		吉田雅彦	月	3	5
【副題】						開講キャンパス		
マクロ経済学の基礎理論						名城公園		
【講義内容】								
日本経済を分析する上で、マクロ経済学の知識は必要不可欠です。本授業では、日本経済をダイナミックに動かす経済指標の決定やその相互関係を学びます。また、政府の経済政策、特に財政政策や金融政策の仕組みや有効性について学びます。								
【パソコンの利用方法】								
授業では使用しない。								
【Microsoft Teams の利用方法】								
講義資料の配信。授業では使用しない。課題・レポート等の配信。								
【WebCampus の利用方法】								
授業では使用しない。								

講義番号	学期	ジャンル	科目名		担当者	曜日	時限	人数
78	春	経済	マクロ経済学 I		渡邊隆俊	月	3	3
【副題】						開講キャンパス		
経済学の「森」全体を鳥瞰する						名城公園		
【講義内容】								
社会科学の基本科目のひとつが「経済学」であることは論を俟たないでしょう。その基礎的な理論のうち、社会全体の立場から経済を考察するのがマクロ経済学です。この科目では、身近な経済データを皮切りに、マクロ経済学を基礎から学習します。具体的には、フローとストック概念、物価水準、三面等価の原則などを通じて、基本的な用語である GDP について詳しく学びます。また、消費と貯蓄、企業の投資、政府支出そして総需要の経済学として「45度線モデル(国民所得の決定)」について学びます。								
【パソコンの利用方法】								
Microsoft Teams、WebCampus の利用。								
【Microsoft Teams の利用方法】								
課題・レポート等の配信。講義資料の配信。								
【WebCampus の利用方法】								
授業では使用しない。								

講義番号	学期	ジャンル	科目名		担当者	曜日	時限	人数
79	秋	経済	マクロ経済学Ⅱ		佐橋倫一	月	3	5
【副題】						開講キャンパス		
総需要-総供給分析と国際マクロ経済学の基礎						名城公園		
【講義内容】								
マクロ経済学Ⅱでは、マクロ経済学Ⅰの分析に基づき、AD-AS分析やマンデル=フレミング・モデルを学習する。まず、既習のIS-LM分析から総需要曲線を導出する。次に、労働市場の分析を踏まえ総供給曲線を導出し、AD-AS分析に進む。ここでは古典派とケインジアンを対比して分析する。また、マンデル=フレミング・モデルにおいて、国際収支を考慮したときの財政金融政策の効果を学習する。								
【パソコンの利用方法】								
授業では使用しない。								
【Microsoft Teams の利用方法】								
講義資料の配信。課題・レポート等の配信。								
【WebCampus の利用方法】								
授業では使用しない。								

講義番号	学期	ジャンル	科目名		担当者	曜日	時限	人数
80	秋	経済	マクロ経済学Ⅱ		吉田雅彦	月	3	5
【副題】						開講キャンパス		
マクロ経済学の基礎理論						名城公園		
【講義内容】								
日本経済を分析する上で、マクロ経済学の知識は必要不可欠です。本授業では、日本経済をダイナミックに動かす経済指標の決定やその相互関係を学びます。また、政府の経済政策、特に財政政策や金融政策の仕組みや有効性について学びます。								
【パソコンの利用方法】								
授業では使用しない。								
【Microsoft Teams の利用方法】								
講義資料の配信。授業では使用しない。課題・レポート等の配信。								
【WebCampus の利用方法】								
授業では使用しない。								

講義番号	学期	ジャンル	科目名	担当者	曜日	時限	人数
81	秋	経済	マクロ経済学Ⅱ	 渡邊隆俊	月	3	3
【副題】					開講キャンパス		
経済学の「森」全体を鳥瞰する					名城公園		
【講義内容】							
「マクロ経済学Ⅰ」は、いわゆる財市場(生産物市場または実物市場)を中心にして学習しました。この「マクロ経済学Ⅱ」では、まずは閉鎖体系を前提として、貨幣市場と労働市場を組み入れて、三市場の同時均衡点を求めます。そこで、金融市場の分析、IS=LM分析、総需要曲線、総供給曲線について論じます。さらに、海外との関係をも考慮した、開放体系のオープンマクロと呼ばれる分野についても学びます。							
【パソコンの利用方法】							
Microsoft Teams、WebCampus の利用。							
【Microsoft Teams の利用方法】							
講義資料の配信。課題・レポート等の配信。							
【WebCampus の利用方法】							
授業では使用しない。							

講義番号	学期	ジャンル	科目名	担当者	曜日	時限	人数
82	春	経済	ミクロ経済学Ⅰ	 王嘉陽	火	4	3
【副題】					開講キャンパス		
ミクロ経済学の基礎から学ぼう					名城公園		
【講義内容】							
この授業では、ミクロ経済学の基本的な考え方である需要曲線と供給曲線および市場均衡について説明し、それらを応用することで、規制や税金が市場に及ぼす影響を学習する。これらを通じて、経済学の基本的な考え方や分析手法を学ぶことを目的とする。							
【パソコンの利用方法】							
Microsoft Teams、WebCampus の利用。							
【Microsoft Teams の利用方法】							
講義資料の配信。							
【WebCampus の利用方法】							
授業では使用しない。							

講義 番号	学期	ジャンル	科目名		担当者	曜日	時限	人数
83	春	経済	ミクロ経済学 I		岡谷良二	火	4	15
【副題】						開講キャンパス		
経済学の基本						名城公園		
【講義内容】								
この授業では、ミクロ経済学の基本的な考え方である需要曲線と供給曲線および市場均衡について説明し、それらを応用することで、規制や税金が市場に及ぼす影響を学習する。これらを通じて、経済学の基本的な考え方や分析手法を習得することが目標である。								
【パソコンの利用方法】								
Microsoft Teams、WebCampus の利用。								
【Microsoft Teams の利用方法】								
講義資料の配信。課題・レポート等の配信。								
【WebCampus の利用方法】								
受講者への連絡。								

講義 番号	学期	ジャンル	科目名		担当者	曜日	時限	人数
84	春	経済	ミクロ経済学 I		三好向洋	火	4	3
【副題】						開講キャンパス		
市場の理論の基礎						名城公園		
【講義内容】								
税金や規制が市場・厚生に与える影響について理解する。								
【パソコンの利用方法】								
授業では使用しない。								
【Microsoft Teams の利用方法】								
講義資料の配信。課題・レポート等の配信。チャット(教員への連絡手段のひとつとしてオフィスアワーに記載している)。								
【WebCampus の利用方法】								
授業では使用しない。								

講義 番号	学期	ジャンル	科目名		担当者	曜日	時限	人数
85	秋	経済	ミクロ経済学Ⅱ		王嘉陽	火	4	3
【副題】						開講キャンパス		
ミクロ経済学の基礎から学ぼう						名城公園		
【講義内容】								
この授業では、経済学の基本的な単位である消費者と生産者について学習する。消費者については、複数の財の選択を理論的に分析する方法を学習する。生産者については、生産費用の構造について、経済学でよく用いられる理論を学習する。								
【パソコンの利用方法】								
Microsoft Teams、WebCampus の利用。								
【Microsoft Teams の利用方法】								
講義資料の配信。								
【WebCampus の利用方法】								
授業では使用しない。								

講義 番号	学期	ジャンル	科目名		担当者	曜日	時限	人数
86	秋	経済	ミクロ経済学Ⅱ		岡谷良二	火	4	15
【副題】						開講キャンパス		
経済学の基礎						名城公園		
【講義内容】								
この授業では、経済学の基本的な単位である消費者と生産者について学習する。消費者については、複数の財の選択を理論的に分析する方法を学習する。生産者については、生産費用の構造について、経済学でよく用いられる理論を学習する。								
【パソコンの利用方法】								
Microsoft Teams、WebCampus の利用。								
【Microsoft Teams の利用方法】								
講義資料の配信。課題・レポート等の配信。								
【WebCampus の利用方法】								
受講者への連絡。								

講義 番号 87	学期	ジャンル	科目名	担当者	曜日	時限	人数
	秋	経済	ミクロ経済学Ⅱ	 三吉向洋	火	4	3
【副題】						開講キャンパス	
消費者行動と生産者行動の分析						名城公園	
【講義内容】							
消費者行動の基礎である2財モデルと、生産者行動の基礎である費用関数を用いた分析の基礎を学習する。							
【パソコンの利用方法】							
授業では使用しない。							
【Microsoft Teams の利用方法】							
講義資料の配信。課題・レポート等の配信。チャット(教員への連絡手段のひとつとしてオフィスアワーに記載している)。							
【WebCampus の利用方法】							
授業では使用しない。							